●道受託研究

平成22年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫

平成２２年（１年間）

中央農業試験場、上川農業試験場、道南農業試験場、十勝農業試験場、北見農業試験場、花･野菜技術センター

共同（協力）機関　（北海道農政部技術普及課、各農業改良普及センター、北海道農業研究センター）

Abstract 概　要

病害虫の発生は、その年の気象条件だけでなく前年の発生状況からも影響を受けます。効率的な病害虫防除を行うためにも、それらを踏まえた全道的な情報が必要とされています。また、道内で未確認の病害虫が突発的に発生した場合にはその情報を共有することが的確な対応につながります。これらを踏まえ、平成22年度に実施した病害虫発生予察調査の結果から、平成23年度の発生に特に注意すべき病害虫として7病害虫を示し、さらに平成22年度に新たに発生を認めた病害虫として20病害虫を示すことで、注意喚起を行いました。

Results 成　果

1 平成23年度の発生に特に注意を要する病害虫

水稲のいもち病

水稲のイネドロオイムシ

てんさいのシロオビノメイガ

菜豆のインゲンマメゾウムシ

野菜類のネギアザミウマ

おうとうの灰星病

果樹の炭疽病

Results 成　果

2 平成22年に新たに発生を認めた病害虫

大豆のミツモンキンウワバ

さやえんどうのオオタバコガ

ストックのハイマダラノメイガ

りんごのスモモヒメシンクイ

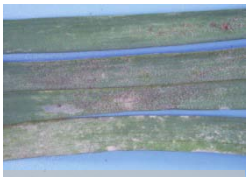
小麦の萎縮病

かぼちゃの灰色かび病

キャベツの株腐病

ストックのモザイク病

エビガライチゴの
イチゴウロコタマバエ


にらのべと病

レタスの苗立枯病

こまつなの
リゾクトニア病

おうとうの炭疽病

ねぎの萎縮病

にらの白色疫病

いちごの乾腐病

だいこんのリゾクト
ニア病の葉腐症状

はくさいの
ピシウム腐敗病

これらのほか
「イネいもち病の耐性菌の出現」
「オウトウ灰星病の低感受性菌の出現」
があります。

Activities 業　績

【発表論文等】
道総研中央農試病虫部予察診断グループ（2011）平成22年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫．農家の友，63（3）：4-7.
道総研中央農試病虫部予察診断グループ（2011）2011年に特に注意を要する病害虫と2010年度に新たに発生を認めた病害虫．ニューカントリー，58（4）：16-18
道総研中央農試病虫部予察診断グループ（2011）平成22年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫．北農，78（2）：45-61
【研究成果入手先】
道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要（pdf）を公開。
http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/iippan23.html

Dissemination 普　及

■本成果は病害虫防除対策に係る指導上の情報として各関係機関で活用されています。
■これらの詳細は北海道病害虫防除所のホームページや各種農業雑誌等で公表されています。

Contact 問い合わせ

農業研究本部　中央農業試験場
病虫部　予察診断グループ

【電話】　０１２３－８９－２２９０
【メール】boujo@hro.or.jp
【ウェブ】http://www. agri. hro.or.jp/boujosho/